

平成24年度事業計画ならびに収支予算

平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで

平成24年3月

公益財団法人ニューテクノロジー振興財団

平成24年度事業計画

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

I. 基本方針

東日本大震災後に落ち込んだわが国経済は、春以降、若干回復・復興の動きは見られるものの、欧州の金融危機の深刻化の中で予断を許さない環境が続いております。

当財団においては、設立以来の支援環境の変化の中で、将来に向けての自律的な事業の推進の為に、敢えて公益財団法人の移行認定を受け、昨年平成23年10月7日に公益財団法人として新たな一步を踏み出すことが出来ました。これもひとえに関係の皆さまのお力添えの賜物と深く感謝しております。

しかしながら、財団の財政基盤ならびに事務局人員体制については、平成23年度までとは大きく異なり、最低限の事務局機能を持つ範囲に止めざるを得ない状況にあります。

従来を中心事業の一つでありました「つくばチャレンジ」においては、当初から5年を一つの目途に、という事で計画をしておりました。お蔭様で関連学会における評価や参加者に於ける技術蓄積も非常に大きなものとなりました。また共同で推進してまいりましたつくば市も、それを実績として「ロボット特区」に認定されるなど、一定の成果を上げた事により、つくばチャレンジにつきましては、昨年度をもって最終とする事としました。

今後におきましては、当財団設立の切掛けでも有り、三十余年アマチュアの参加によって支えられ、今でも参加者が増加傾向にある「マイクロマウス競技会の継続開催」を、当財団の中心的な事業として据え、推進してまいりたいと考えております。

従来事務局を中心とした体制にて、準備から当日の運営までを行ってまいりましたが、今後におきましては大学を中心にした開催を前提として、毎年度設置する予定の実行委員会を中心に、参加者が主体となるボランティア組織「マイクロマウス・サポーターズ」の協力を得て開催が出来るような体制構築を目指しながら、平成24年度の全日本マイクロマウス大会の実施計画を立案している所です。

それに伴い、従来マイクロマウス委員会の組織の見直しや、大会運営組織としての実行委員会の設立も併せて行う予定をしております。

今年度におきましては、芝浦工業大学の関係の先生方の全面的なご協力により、全国大会開催の目途が立ったことに、改めまして深く感謝いたします。

今後とも新たな当財団につき、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

II. 事業の実施計画

1. 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

(1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

①マイクロマウス2012(第33回全日本マイクロマウス大会)の開催

従来、マイクロマウス委員会の下で、財団事務局が主体となり大会の準備運営を行ってきたが、今年度から事務局体制の変更によりその機能を持たない為、大会実施については年度毎に設置する実行委員会によって計画・準備・当日運営を行う事とする。

また、常置委員会としてのマイクロマウス委員会についても、それに伴う役割分担や協力体制の確立の為に、再編成を行う。

期 日：2012年11月23日(金・祝)～25日(日) (予定)

会 場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス (予定)

②マイクロマウス各地区大会ならびに全国学生大会の開催と助成

期 間：2012年7月～11月

場 所：全国地方支部等にて開催

(2)その他の普及活動

広報事業

財団の事業活動について、ホームページならびにメールマガジン等の発行を中心としながら財団事業の情報発信を積極的に実施する。

(3)情報交流・国際交流に関する事業

「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2012」

(知能ロボットとシステムに関する国際会議2012：略称 IROS2012)への協力

昨年につき、開催協力等を行う。

期 間：2012年10月7日(日)～12日(金)

場 所：ポルトガル-ヴィラモウラ HOTEL TIVOLI MARINA VILAMOURA

III. 総務

1. 会議の開催

(1) 定時理事会の開催

第3回 平成24年6月

第4回 平成25年3月

(2) 定時評議員会の開催

第2回 平成24年6月

以上